

厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和6年3月11日(月)
14時44分開会 14時53分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第2委員会室
- 3 出席議員 委員長：川上 均 副委員長：橋本晃明
委 員：山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和
- 4 事務局 事務局次長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 所管事務調査の申し出について
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 14 : 44】

(1) 所管事務調査の申し出について

委員長（川上 均）：只今より厚生文教常任委員会を開催する。前回の課題となっていた所管事務調査の申し出についてである。持ち帰っていただきそれぞれ検討していただきながら本日は決定していきたいと思う。前回出されていたのは、一つは部活の地域移行について、もう一つは小中一貫教育について、そして終活の関係についての調査ということであるが、皆さんの方から何かご意見等あれば出していただきたいと思う。

山本委員：部活の地域移行も気になると思ったが、前回、時期的に少し早すぎるのではないかとということだったので、先進地は気になるけれども、終活はどうかと思っている。

佐藤委員：前回、小中一貫教育について申し出たが、次の広報しみずにて特集で入るから今回は取り下げる。

委員長：広報に載ったとしても、調査だから調査自体は特に問題はないと思うけれども、それを踏まえた上での調査ということではいかがか。

佐藤委員：深く突っ込んでいくということであればいいと思うが、だぶるような気がして。

西山委員：小中一貫教育でやったらいいと思う。部活の関係は社会教育に聞いたらまだ何もできていないということで、答えることができないと言っていたので。6月か9月にやってくれば少しまとまるかなと言っていたので、今回言われても答えることができないと言っていたので、小中一貫教育がいいと思う。

桜井委員：今年予算の新規事業の中で、部活動地域移行事業というのが8万円の予算で組まれて、これは推進計画を策定するというものであるから、まだそこまで至っていないという状況であると思うので、今後所管事務調査はまだできるということで、今の段階では時期尚早だということで、教育の部分ではコミュニティスクールもどうかと思ったが、あと選択肢の中では終活でいいと思う。

橋本委員：部活の地域移行についてということで前回意見を述べさせてもらったけれども、先進地といっても、まだ本当にしっかりとやり切っているところがなかなかないと、ネットで調べると苦小牧とか池田町も出てくるけれども、まだ参考にするというのは早いという感じはする。前回の3つの中では終活がこの際いいと思う。先日ある葬儀があったけれども、そこの方が全部生きていううちに色々整理されていたというような話で、故人はどのような方だったかということも、私はという文で始まるものを読んでいたというのがあって、そういうのを調査してみるといいものではないか。

委員長：皆さんから意見を頂いて、終活について3人の方、小中一貫教育については2人の方ということで、終活は私が話を切り出したけれども、鹿追、本別、いずれにしても主体でやっているのが社会福祉協議会である。それで、役場との関連も含めて難しい点もあるかもしれないので、そういう部分も含みいただきながら、それぞれの先進的な町についての取り組みについて、それと、できれば清水の社会福祉協議会の現状も成年後見人とかやっていると思うけれども、今後の終活に向けてどのように考えているのかも含めて取り組んでいきたいと思うので、結論から申し上げると、今回は終活について調査を行うということではよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：細かい中身については私と副委員長と事務局と協議の中で進めさせていただいて、皆さんにお諮りしたいと思うので、そのような形でよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：所管事務調査の申し出については終活事業についてということで、基本的には鹿追と本別、そして社会福祉協議会の方の調査をやっていきたいということで進めたいと思う。その他皆さんから何かあるか。

(「なし」との声あり)

委員長：タイトルについては私と副委員長と事務局で決めさせていただく。

(2) その他

委員長：その他なければ、以上で本日の厚生文教常任委員会を終了する。

【閉会 14:53】